

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月03日

計画の名称	矢巾町における防災・安全に関する下水道事業												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	矢巾町												
計画の目標	下水道整備を積極的に行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な公共用水域を確保するとともに生活環境の整備を実現する												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	350	A	350	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27当初	中間目標値 H29末	最終目標値 H31末
1	下水道による浸水対策達成率を72.51%(H27)から72.61%(H31)に増加させる 下水道による浸水対策達成率 浸水対策済み面積(ha) / 浸水対策すべき面積(ha)	72%	72%	72%
2	耐用年数を経過した人孔鉄蓋の更新率を13%(H27)から48%(H31)に増加させる 人孔鉄蓋の更新率 耐用年数を経過した人孔鉄蓋の更新枚数(枚) / 耐用年数を経過した人孔鉄蓋の枚数(枚)	13%	30%	48%
3	管渠の長寿命化計画の実施率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる 管渠の長寿命化計画実施率 改築更新を実施した管渠延長(m) / 改築更新を実施すべき管渠延長(m)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
分子/分母	①H27当初147.2ha/203ha H29末147.3ha/203ha H31末147.4ha/203ha		②H27当初91枚/702枚 H29末210枚/702枚 H31末337枚/702枚				③H27当初0m/500m H29末250m/500m H31末500m/500m					

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	矢巾町	直接	—	管渠（ 雨水）	新設	岩崎川右岸排水区枝線	雨水函渠改築 L=1.2km	矢巾町	■	■	■	■	■	70	—	—	
	A07-002	下水道	一般	矢巾町	直接	—	管渠（ 污水）	改築	人孔鉄蓋・污水管渠更新	長寿命化計画策定 L=12.0km	矢巾町	■						40	—	—
	A07-003	下水道	一般	矢巾町	直接	—	管渠（ 污水）	改築	污水管渠更新	管更生 L=500m	矢巾町		■	■	■	■		100	—	策定済
	A07-004	下水道	一般	矢巾町	直接	—	管渠（ 污水）	改築	人孔鉄蓋更新	マンホール蓋交換 180箇所	矢巾町		■	■	■	■		100	—	策定済
	A07-005	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	矢巾町ストックマネジメント事業	ストックマネジメント計画策定、管路・鉄蓋調査	矢巾町					■		40		策定済
	小計																	350		
	合計																	350		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業担当部署にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和2年8月

公表の方法

矢巾町ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・各地区の下水道整備を進めることにより、浸水対策達成率の向上を図ることができた。
- ・対象鉄蓋を更新することにより、鉄蓋更新率の100%を達成することができた。
- ・対象区域の管渠更生等を実施することにより、長寿命化計画の実施率100%を達成することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

令和3年度の下赤林地区公共接続に向けて、今年度中に準備を行い、円滑な事業の進行に努める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による浸水対策達成率を72.51%（H27）から72.61%（H31）に増加させる	
	最終目標値	72%
	最終実績値	78%
2	耐用年数を経過した人孔鉄蓋の更新率を13%（H27）から48%（H31）に増加させる	
	最終目標値	48%
	最終実績値	55%
3	管渠の長寿命化計画の実施率を0%（H27）から100%（H31）に増加させる	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%